

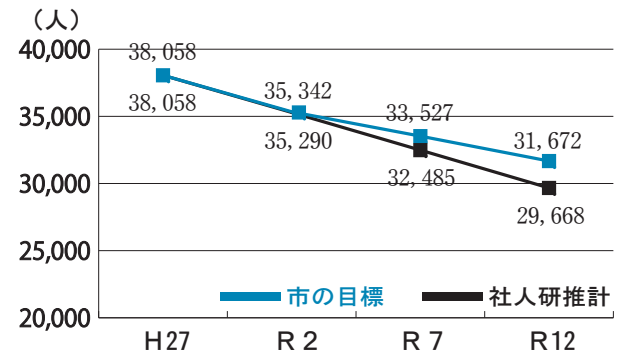


～人口減少に歯止めをかけるべく、「持続可能な地域づくり」に関するさまざまな取り組みを行っています～

▶問い合わせ先＝企画調整課(☎内線230)

「まち・ひと・しごと創生」は、出生率の低下を防ぎ、人口の減少に一定の歯止めをかけることや、それぞれの地域で住みよい環境を確保し、将来にわたって活力ある社会を維持することを目的とする、国をあげた取り組みです。本号では、市が策定した「第2期大船渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略(以下、「第2期総合戦略」という)」から、市の人口の現状や将来を見据えたまちづくりの取り組みの概要を紹介いたします。

平成27年から令和12年までの人口の推移および今後の見通しは、次のグラフのとおりです。



令和42年には14,047人と、急速に減少すると推計されています。

人口の減少が及ぼす影響

人口減少は、産業活動の停滞、地域コミュニティの維持困難のほか、医療・福祉・介護、学校教育、公共交通、市の行財政など、地域の経済や社会全般にわたる影響が懸念されます。

大船渡市の将来都市像

人口減少に歯止めをかけるために、「しごと」が人を呼び、人が「しごと」をつくるという好循環を生み出し、安心して生涯暮らし続けられるまちづくりを推進します。

令和12年に、人口31,672人が目標

市では、将来都市像の実現に向け、令和2年度～令和6年度までを計画期間とする「第2期総合戦略」を、「大船渡市総合計画2021」の重点プロジェクトに位置づけています。

計画では、令和12年に人口31,672人にとどめることを目指し、各種事業を展開しています。

安心して生涯暮らし続けられる大船渡であるために

市の現状から今後のまちづくりを展望すると、これまでに以上に市民と行政の協働が必要で、市民の皆さんと市が

将来目指すべき都市像を共有して、その実現に向け、自主的に、あるいは連携しながら多様な課題の解決に取り組んでいかなければなりません。今後、広報大船渡では、この「第2期総合戦略」について、定期的に特集していきます。大船渡市の未来について一緒に考えていきましょう。

第2期総合戦略の評価

「第2期総合戦略」では、具体的な指標とその目標値を設定し、市役所内で組織する「大船渡市総合戦略推進本部会議」や、外部有識者などで構成する「大船渡市総合戦略推進会議」で達成状況を評価し、結果を翌年度以降の取り組みに反映させています。目標の実現のためには、市民の皆さんや企業、NPO法人など、市全体がともに連携・協力して取り組むことが必要です。



実施状況はホームページに掲載しています

第2期大船渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略とは？

～出生率低下の克服、地域経済の活性化に資する施策を組み合わせ、推進します～

基本目標1

大船渡にしごとをつくり、安心して働けるようにする

- 1 水産・食産業の競争力強化
- 2 水産加工原魚等確保安定化プロジェクト、漁業担い手育成・総合サポートプロジェクトなど



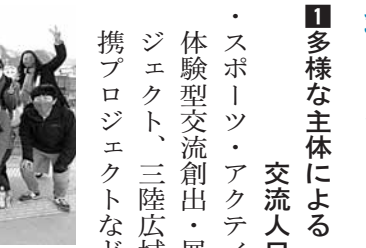
【漁業担い手育成】漁業への新たな事業者の確保に取り組みます

- 3 新産業創出と起業・第二創業支援
- 4 スタートアップ応援プロジェクト、地場産業高度化

基本目標2

大船渡への新しい人の流れをつくる

- 1 多様な主体による交流人口の拡大
- 2 スポーツ・アクティビティ体験型交流創出・展開プロジェクト、三陸広域観光連携プロジェクトなど



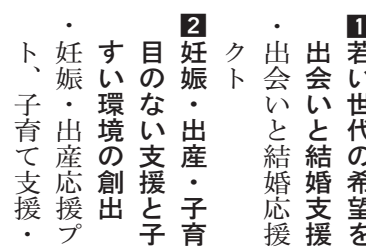
【交流人口の拡大】大船渡へ移住し、活躍する人が増えています

- 3 関係人口の拡大と移住・定住の促進

基本目標3

大船渡で安心して家庭を築き、子どもを産み育てられるようにする

- 1 若い世代の希望をかなえる出会いと結婚支援の展開
- 2 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援と子育てしやすい環境の創出



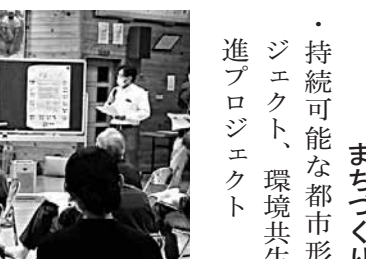
【子育て支援】スタッフ見守りのもと子供たちが楽しく遊べます

- 3 妊娠・出産応援プロジェクト、子育て支援・交流拠点強化プロジェクトなど

基本目標4

大船渡で生涯暮らし続けられる地域をつくる

- 1 協働で誰もが活躍できるまちづくりの推進
- 2 持続可能なまちづくりの推進



【協働のまちづくり】各地区では、新たなまちづくりへチャレンジしています

- 3 持続可能な都市形成プロジェクト、環境共生行動推進プロジェクト